

■提案を求める事項

A	共通	<ul style="list-style-type: none"> ●仕様書P6のiiiに記載のデータベースについて、活用するデータベースや効率的な運用方法を、具体的に提案してください。 ●雇用環境の改善等により、フィールドを含めた就業支援機関の利用者が減少する傾向にあることを踏まえ、仕様書P6のivに記載の広報について、府民や企業担当者のフィールドに対する認知度を向上させ、利用者の増加につながる、本業務（A～Fの細業務すべて含む）の全体戦略を提案してください。フィールドでは、求職者と企業が出会える機会の創出をコンセプトに事業を実施していることに留意した内容としてください。また、ホームページのページ構成や機能、SNSを活用した情報発信についても、具体的に提案してください。
	求職者	<ul style="list-style-type: none"> ●仕様書P8のviに記載のセミナーは、就職支援に向けた中心的な手法であることを踏まえ、困難性の要因に応じた内容について具体的に（育児や介護等と仕事の両立を目指す女性に特化したセミナー、就職に困難性のある求職者（LGBT等性的マイノリティの方を含む）就職活動のスキル向上セミナー）提案してください。
	企業	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の人材確保が難しくなっている現状を踏まえ、仕様書P10のivに記載の企業情報掲載サイトと、仕様書P10のviiの①に記載の金融機関と連携した合同企業説明会について具体的に（サイトについては効果的な運用方法、情報管理方法等を、合同企業説明会については時期、場所、対象者、スケジュール、収支計画等を）提案してください。
B	求職者	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでフィールドの対象として広報を積極的に行っていなかった転職希望者を対象にしていることを踏まえ、仕様書P11のivに記載の広報について、特に転職希望者の利用増加に向けた手法を具体的に提案してください。 ●仕様書P3の「7」に記載の「11.求職者支援担当」が、仕様書P11のvに記載の定着までの伴走支援を実施するにあたり、求職者の定着状況を把握する方法について具体的に提案してください。 ●仕様書P11のvに記載の相談支援、viに記載のセミナー、viiに記載の求職者と企業のマッチングについて、より短期間での就職に結びつく内容を具体的に提案してください。
	企業	<ul style="list-style-type: none"> ●仕様書P1の「2」に記載のとおり、正社員確保や登用をめざす37業種の企業を支援対象とすることを踏まえ、仕様書P11のivに記載の広報について、企業診断等を活用した新規企業の開拓方法を、10月末までの目標社数も踏まえて、具体的に提案してください。 ●仕様書P11のviに記載のセミナーについて、企業規模や業界別のセミナーの講師、テーマ、内容、時期も含めて具体的に提案してください。
C	求職者	<ul style="list-style-type: none"> ●仕様書P1の「2」に記載のとおり、本細業務は具体的な就職活動をしていない潜在求職者である、(1)女性、(2)55歳以上の高年齢者、(3)長期無業の状態にある就職氷河期世代を支援対象としています。行政からの情報に対する関心が低いと思われるので、仕様書P12のivに記載の広報について、潜在求職者の属性を十分に分析した上で、掘り起こしにつながる効果的な広報手段を(1)～(3)の対象者ごとに具体的に提案してください。ただし、女性については潜在求職者を含めるものの潜在求職者に限定せず、広く掘り起こすこととします。 ●支援対象の方の中には、就職意欲の低い方が含まれると想定されることから、仕様書P12のviの①のセミナーについて、(1)～(3)の対象者ごとに具体的に提案してください。また、支援対象ごとに働いた経験に相当の差異があると想定されることから、仕様書P12のviの②の研修プログラムについて、マッチング手法も含めて具体的に提案してください。ただし、(1)女性については、キャリアブランクのある女性を対象としたものとします。
	企業	<ul style="list-style-type: none"> ●仕様書P14のviに記載のセミナーについて、雇用促進に結びつくようなノウハウを提供するセミナーをC「求職者」に記載の対象(1)(2)それぞれについて具体的に提案してください。なお、確実に企業にノウハウが定着するものであれば、手法はセミナーに限定しません。ただし、(1)女性については、キャリアブランクのある女性を対象としたものとします。 ●C「求職者」に記載の対象(1)～(3)求職者ごとに、効果的なマッチングの手法が異なると想定されます。仕様書P14のviiに記載の、C「求職者」の項目で提案を求めた研修プログラムと一体となったマッチング手法とは異なる、支援対象に応じたマッチングの手法を具体的に提案してください。ただし、(1)女性については、キャリアブランクのある女性を対象としたものとします。
D	企業	<ul style="list-style-type: none"> ●仕様書P15のvに記載の企業開拓について、これまでは地方銀行を中心に連携し、企業開拓を行ってきましたが、今回ヒアリング企業の開拓を新たに実施するための連携先や効果的で効率的な連携手法をそれぞれ具体的に提案してください。 ●仕様書P15のviiに記載の「都市部大企業人材の副業・兼業を通じた人材確保支援」を実施するための連携先やスキームなど運用手法をそれぞれ具体的に提案してください。
E	企業	<ul style="list-style-type: none"> ●仕様書P17のviに記載の企業見学会やセミナーについて、高校生採用のスケジュールを考慮のうえ、テーマ、手法、場所、講師、スケジュールなどを具体的に提案してください。また、企業見学会については、高校教員をはじめ、高校生の視野を拡大できるよう、中小企業の魅力を発信する効果的で、具体的な手法や想定するネットワーク等を提案してください。
F	企業	<ul style="list-style-type: none"> ●仕様書P18のviに記載のセミナー等について、既存施設の有効活用を促すためのセミナーを、集客の手段も含めて具体的に提案してください。また、vii及びviii記載のマッチング会について、集客の手段も含めて具体的に提案してください。